



# さん が

第 七 九 号

平成 二 五 年

西 曆 二 〇 一 三 年

秋 彼 岸 九 月 号

曹 洞 宗 東 運 寺

京 都 市 伏 見 区 淀 新 町 六 一 八 一

TEL 〇 七 五 一 六 三 一 一 二 二 七 二

FAX 六 三 一 一 五 七 二 五

E-MAIL [sanga@tounji.net](mailto:sanga@tounji.net)

猛暑と豪雨、また、花火大会での大きな事故もあって、記憶に残る夏となりました。

以前にもご紹介しましたが、

「心頭を滅却すれば、火も自ら涼し」という言葉が禅には伝わっています。なんとも勇ましいのですが、すこし無茶な印象も受けますね。

さて、この言葉を聞いて、みなさんはどういう意味をご想像なさいますか。

修行が進んで悟りをひらけば、火炎すら熱くなくなる超能力を得る、ということでしょうか。

いえいえそれは違います。お釈迦さまですら、火に触れば火傷を負われるでしょう。

それでは、修行が進めばガマン強くなり、多少の暑さであれば辛抱できるほどになる、ということでしょうか。



いえいえそれでは半分だけの正解です。それではいったい、どんな意味が込められているのでしょうか。

禅語辞典で「心頭」を引くと、「取捨憎愛する心」と出てきます。「ものごとが自分の思い通りになって欲しい」という欲望を指しているようです。

ところが、世の中には「自分の思いで変えていけるもの」と「変えていけないもの」があります。そして私たちは、ときにその区別がうまくできず、苦しみ悩むことがあります。

たとえば暑さ寒さなどは、人間の力でどうなるものはありません。ですが、修行が進むにつれ、そういう状況に置かれたら置かれたで、何ができるか探りながら一所懸命に生きるしかない、ことに気づいていくのです。

今日という日は一日しかありません。みなさまもどうか心頭を滅却して、一度しかない毎日をたいせつにお過ごしください。

# 秋の団参(ご)案内

今年には二年ぶりに団参が開催されます。

行き先は淡路島。全島にまたがる、七福神のお寺めぐりをいたします。すべて貸し切りの観光バスです。秋の良き日、たくさんの皆さまの皆さまの、ご参加をお待ち申し上げます。


日時 十月九日(水)～十日(木)  
集合 近鉄竹田駅前 午前八時ころ予定  
参加費 二五、〇〇〇円  
宿泊 洲本温泉「夢海遊淡路島」

申し込み締め切りは九月十日(火)となっております。詳しくはお寺までお問い合わせください。



## ごみ分別、再度のお願い

ただいまお墓の入り口には、四種類のごみ箱を設置しております。

- ・燃やすごみ (花・紙)
- ・プラスチックごみ
- ・マークの入ったもの
- 菓子袋・レジ袋・ペットボトルの包装とフタ・ワンカップのフタなど)
- ・空き缶や空き瓶 (フタなどは外して分別)
- ・一般ごみ



(ビニールなど先の3つに当てはまらないもの)

燃やすごみは、焼却炉を使って処分しています。あとの三種は、京都市のルールに則ったもので、お寺でそれぞれ袋につめ替えて出しています。

お参りの皆さまにも、どうか分別にご協力くださり、美しく気持ちよくお墓参りができますよう、お願い申し上げます。